

## ホッとと愛に



このコーナーは、市内で福祉活動をされている方や団体にスポットを当てたインタビューコーナーです。

今回は、ボランティア大学にもご協力いただいているボランティアグループの中から、「手話サークル 茅の会」を代表して4名の方にインタビューをさせていただきました。

Q1 「手話サークル 茅の会」ができた経緯を教えてください。  
1975(昭和50)年3月に茅ヶ崎市主催第1回手話講習会の受講者有志により県下初の昼間のサークルとして、茅ヶ崎市福祉会館で活動を始めました。

Q2 どんな活動をされていますか？

毎週水曜日、うみかぜテラスで手話学習会をしています。社会見学やお楽しみ会で和気あいあいと交流しています。夏休みやおやすみ教室、ボランティア大学、ボランティアまつり、手話出前講座などへの協力もしています。



Q3 皆さんが活動を始めたきっかけは？

釘持さん：昭和48年から、手話講習会を開いてもらいたいと市に働きかけをしました。手話に対しての理解がなかつた頃で、予算の関係もあつてなかなか出来なかつたです。第1回の手話講習会が終わってから30名位の有志で活

動を始めて、呼び掛けて会員が増えていきました。現在は39名で活動をしています。

望月さん：ボランティア大学を受講して、茅の会に入りました。釘持さんが当時の会長さんとお話しをした時の手話が綺麗で、にこにこの笑顔で印象が良く、手話が魅力的だなと思って勉強を始めました。

木村さん：孫が生まれつき耳が聞こえず、大きくなった時に、手話を勉強するだろうからおばあちゃんもちょっと出来たらいいだろうと思って始めました。

嶋田さん：ボランティア大学を受講し、茅の会へ介護ボランティアに登録しました。子どもが小学校から帰ってくる前の午前中のボランティア活動は参加しやすかつたのもあります。幽霊会員(笑)や介護で離れた時もありますが、メンバーとして今も活躍中。

Q4 楽しいことや思いに残っているエピソードはありますか？

望月さん：屋内プールの2階の観覧席とプールで手話を使って簡単な会話をすることができて、遠くても通じることに手話っていいなと思いました。

釘持さん：いっぱいありすぎて何を言ったらよいか分からない！楽しいこといっぱい！自分では聞こえないけれど、声が出るから周りから聞こえないうことを忘れていたと言われたことあります。でも、努力して途中から声を出せるようになったのは、みんなのおかげです。周りのみんなに間違いを直してもらいました。

木村さん：手話の勉強の中で時々手話歌や手話ダンスをやってきました。昔話などをジェスチャーや身体を使う

て表現するようなテキスト以外の勉強も楽しんでいます。

嶋田さん：手話を通じて多くの方々と交流ができました。

Q5 活動を続けられている原動力は？

望月さん：今の目的は手話ができる人を増やすことです。ろう者が困っている時に片言でもしゃべれる人がいれば、何かしてあげようという前向きな気持ちになれると思うからです。また、聴覚障がい者を理解しようとする人が増えてほしいですね。

釘持さん：コミュニケーションの中で手話が上手下手は関係なく、通じたい、話しかけたいという気持ちが嬉しんです。手話が通じるところ抜けても伝わるし、伝えたいという気持ちで読み取れるのが嬉しい。伝えたいことが読み取れて、もう通じた！というのが楽しくなります。

木村さん：孫がもう少し大きくなつて、自分で手話を勉強しなければという気になった時に手話で話したいです。

嶋田さん：手話はつても表情が豊かな言語で、表現がすごく魅力的で奥深い面があり、続けてやってみようという力になつていきたいと思います。

Q6 最近はドラマや映画でも手話を題材とした作品がみられるようになりました。おすすめの作品などありますか？

皆さん：『愛していると書いてくれ』(1995年)、『ラブフォイス 法廷の手話通訳士』(2023年)、『Coda

』(2024年)、『Silent(サイレント)』(2022年)は最近の子どもたちも見ていたようです。実際の手話を知りたいと思ったら、NHKの『みんなの手話』が分かりやすいと思います。

Q7 皆さんに知ってもらいたいことはありますか？

望月さん：ろう者は口元を読むもので、しゃべっている口元で言いたいことが分かります。手話が出来なくても筆談、空書、ジェスチャー、口話、表情でコミュニケーションはとれます。

釘持さん：お互いに教えたり教えあつたりして歩みたいと思っています。助けること助けられることはいずれも必要なことで、手話が違つたら、言葉が違つたらお互いに教えあつて自然な交流ができればいいと思います。

インタビューを終えて  
教えていただいたグループ名の「茅の会」の手話表現は「細く長い草をイメージし、下から上に「ピンピン」としますが、字面だけでは、「だ」と思いますが、実際に対面して顔を合わせ、相手をよく見て、自分の手を動かしてみると、そこには通じるものがありました。手話に限らず、伝えたいことが届くようこれからも社協がちがさを皆様の元にお届けできたらと思います。

インタビューを終えて  
教えていただいたグループ名の「茅の会」の手話表現は「細く長い草をイメージし、下から上に「ピンピン」としますが、字面だけでは、「だ」と思いますが、実際に対面して顔を合わせ、相手をよく見て、自分の手を動かしてみると、そこには通じるものがありました。手話に限らず、伝えたいことが届くようこれからも社協がちがさを皆様の元にお届けできたらと思います。



インタビューを終えて  
教えていただいたグループ名の「茅の会」の手話表現は「細く長い草をイメージし、下から上に「ピンピン」としますが、字面だけでは、「だ」と思いますが、実際に対面して顔を合わせ、相手をよく見て、自分の手を動かしてみると、そこには通じるものがありました。手話に限らず、伝えたいことが届くようこれからも社協がちがさを皆様の元にお届けできたらと思います。

インタビューを終えて  
教えていただいたグループ名の「茅の会」の手話表現は「細く長い草をイメージし、下から上に「ピンピン」としますが、字面だけでは、「だ」と思いますが、実際に対面して顔を合わせ、相手をよく見て、自分の手を動かしてみると、そこには通じるものがありました。手話に限らず、伝えたいことが届くようこれからも社協がちがさを皆様の元にお届けできたらと思います。

インタビューを終えて  
教えていただいたグループ名の「茅の会」の手話表現は「細く長い草をイメージし、下から上に「ピンピン」としますが、字面だけでは、「だ」と思いますが、実際に対面して顔を合わせ、相手をよく見て、自分の手を動かしてみると、そこには通じるものがありました。手話に限らず、伝えたいことが届くようこれからも社協がちがさを皆様の元にお届けできたらと思います。

インタビューを終えて  
教えていただいたグループ名の「茅の会」の手話表現は「細く長い草をイメージし、下から上に「ピンピン」としますが、字面だけでは、「だ」と思いますが、実際に対面して顔を合わせ、相手をよく見て、自分の手を動かしてみると、そこには通じるものがありました。手話に限らず、伝えたいことが届くようこれからも社協がちがさを皆様の元にお届けできたらと思います。

インタビューを終えて  
教えていただいたグループ名の「茅の会」の手話表現は「細く長い草をイメージし、下から上に「ピンピン」としますが、字面だけでは、「だ」と思いますが、実際に対面して顔を合わせ、相手をよく見て、自分の手を動かしてみると、そこには通じるものがありました。手話に限らず、伝えたいことが届くようこれからも社協がちがさを皆様の元にお届けできたらと思います。

インタビューを終えて  
教えていただいたグループ名の「茅の会」の手話表現は「細く長い草をイメージし、下から上に「ピンピン」としますが、字面だけでは、「だ」と思いますが、実際に対面して顔を合わせ、相手をよく見て、自分の手を動かしてみると、そこには通じるものがありました。手話に限らず、伝えたいことが届くようこれからも社協がちがさを皆様の元にお届けできたらと思います。

インタビューを終えて  
教えていただいたグループ名の「茅の会」の手話表現は「細く長い草をイメージし、下から上に「ピンピン」としますが、字面だけでは、「だ」と思いますが、実際に対面して顔を合わせ、相手をよく見て、自分の手を動かしてみると、そこには通じるものがありました。手話に限らず、伝えたいことが届くようこれからも社協がちがさを皆様の元にお届けできたらと思います。

## 送迎ボランティア募集!

市社協では、身体障がいのため外出が困難な車いす利用者を対象に、車いすごと乗れる福祉車両を使用して、通院等の送迎をボランティアさんの協力を得て行っています。

あなたも送迎ボランティアになって、地域の福祉を支えてみませんか?  
(市社協は、道路運送法における福祉有償運送の登録事業者です)

### ◎活動日・時間

月～金曜日の8時30分～17時でご都合の良い時間(祝日、年末年始は除く)活動を希望される方、ご興味がある方は、担当までご連絡ください。

※月1回の活動でも大歓迎!無理のない範囲で活動できます。

※実際の運行に同乗することも可能です。

※安心して運行していただけるよう、操作など含め、職員が全力でバックアップします!

お問合せ 月曜～金曜 8時30分～17時15分(祝日、年末年始は除く)  
TEL: 85-9650 (ハンディキャップ担当まで)

活動するにあたり、以下の①～③のすべてに当てはまる方を対象とさせていただきます。

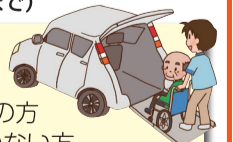
- ①普通自動車免許を保持し、運転経験5年以上の方
- ②過去2年以内に運転免許停止処分を受けていない方
- ③国土交通省認定講習(1日間)を受講していただける方

※普通自動車2種免許をお持ちの方は講習が免除となります。

※講習費用は市社協で負担します。

※定年は80歳となります。

※自家用車をお使いいただく「個人送迎ボランティア」も大募集です!



## あなたがどこかに寄附を ありがとうと頂きました

いただいたご寄附は、ボランティアグループ、当事者団体の活動支援等、本会の行う地域福祉事業の充実に活用させていただきます。どうもありがとうございました。

寄附者ご芳名(敬称略)

受領期間: 令和5年10月1日

～令和6年1月31日

- ▼平和町公園愛護会
- ▼北沢一郎
- ▼鶴嶺東地区民生委員児童委員協議会
- ▼神奈川県自転車商協同組合
- ▼一般財団法人光之村
- ▼有限会社茅ヶ崎バンテック
- ▼湘南スウィングジャズオーケストラ
- ▼株式会社梅田モーターズ
- ▼骨董くらりい
- ▼さがみ農業共同組合
- ▼茅ヶ崎市温室園芸組合
- ▼坂本弘子
- ▼ムーンスターズコミュニティスポーツクラブ
- ▼特定非営利活動法人日本入れ歯リサイクル協会
- ▼イトーヨーカドー労働組合
- ▼茅ヶ崎支部

【振込先】湘南信用金庫 茅ヶ崎営業部  
(普)41349006

シャクヤクシホクシチカサキシキョウカイ  
社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会

会長 水島静夫  
代表理事 水島静夫

※お振込みを確認した後、本会より領収証及びお礼状をお送りいたしますので、必ず事前にお電話やFAX、メールにてお名前(ふりがな)、ご住所及びご連絡先、お名前公表の可否をご連絡ください。

※寄附者の方々は、本会広報紙でご紹介させていただきます(公表不可の場合は匿名とさせていただきます)。

※お手数ですが、振込手数料はご負担ください。

お問い合わせ 月曜～金曜 8時30分～17時15分(祝日、年末年始は除く)  
TEL: 85-9650 (ハンディキャップ担当まで)

広報紙「社協ちがさき」へのご感想や、ご意見・ご要望(「ホッと心愛」でこんな活動をピックアップしてほしい!等)をお寄せください。

eboshi@shakyo-chigasaki.or.jp